

心のメッセージ5 「多文化共生について」 生徒感想(抜粋)

・「多文化共生」という言葉があるのをはじめて知り、岸和田に、外国から来た生徒がたくさんいることを知った。

・もし、私が異国に行ったとしても、知らない言葉や、自分の国とは違う文化に戸惑うと思うので、他の国の人が困っていたら、思いやりのある行動をしようと思いました。

・私が住んでいる岸和田の中にいろいろな国の人がいて、それぞれの文化の違いを身近で感じる事ができるのがとてもいいなと思いました。また、そんな人たちとお話をしたい。

・国それぞれの習慣やルールがあるんやなって思ったし、日本のあたりまえは違うんやなと思いました。

・ルールや文化を尊重しあわないといけないと思いました。

・私も、この言葉を初めて聞きましたが、相手の母国のことを深く理解しあうのがとても大切で、難しいですが、外国人からすると私も、外国人なので「ここは日本やから」と厳しくせず、やさしく教えてあげたいです。

・日本と外国の文化は違うから、日本では当たり前でも、外国では当たり前じゃないから、それぞれの文化を教えあったりするのがいいんだなあと思ったし、それを認めあえなければならぬと思いました。

・野村中にも外国から来た生徒はいますが、日本と外国の文化の差ってこんなに違うということを知りました。

・いろんな国の文化をもっと知ってみたいと思った。

・国籍が違う人と接するときには、お互いの文化の違いを分かりあって、認め合うのが大切だなあと思いました。人と人どうしが接しあうのには、必ず「思いやり」が大切だとおもいました。

・自分の中で当たり前だと思っていることが、他の人も当たり前だと思っているとは限らないから、それを知ったうえで、他国籍の人たちと接する必要がある。